

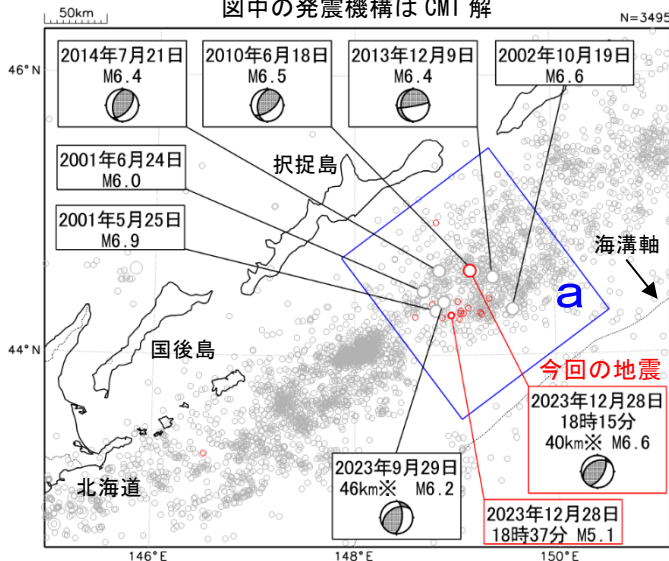
12月28日 択捉島南東沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2023年12月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.0$)

2023年12月の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解

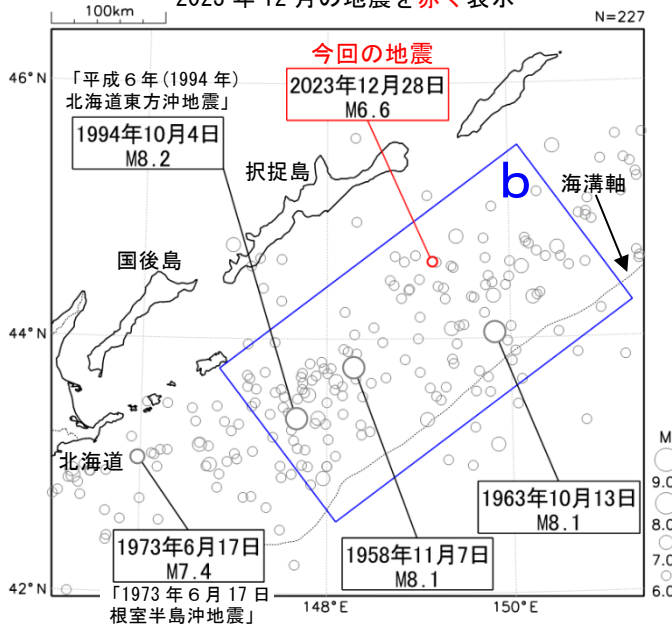


※深さはCMT解による。

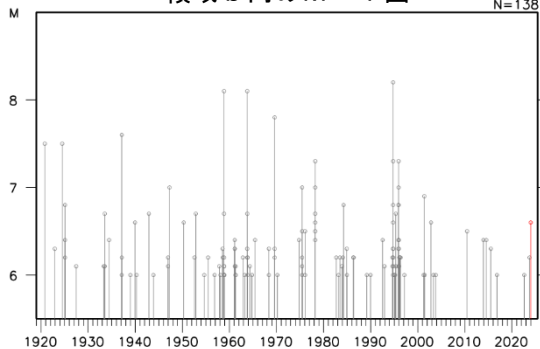
震央分布図

(1919年1月1日～2023年12月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2023年12月の地震を赤く表示



領域b内のM-T図



2023年12月28日18時15分に択捉島南東沖の深さ40km(CMT解による)でM6.6の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震発生後、28日18時37分にM5.1の地震が発生するなど、この周辺で地震活動がやや活発となった。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M6.0以上の地震が時々発生しており、直近では、2023年9月29日にM6.2の地震が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M8.0以上の地震が3回発生している。1994年10月4日に発生した「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」(M8.2、最大震度6)では、根室市花咲で168cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測するなど、北海道から沖縄県にかけて津波を観測したほか、負傷者436人、住家被害7,764棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図

